

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マルハン高槻店新築工事(仮称)	階数	地上1F
建設地	高槻市南庄所町123番1	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	5地域	年間使用時間	6,570 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2016年5月15日
敷地面積	10,046 m ²	作成者	株式会社朝日建築 横山光
建築面積	4,088 m ²	確認日	
延床面積	3,758 m ²	確認者	

本図を右クリックし、「図の拡大」を選択していただくことで、外観図等を拡大することができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100%
②建築物の取組み 94%
③上記+②以外の 94%
④上記+ 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3
Q2 サービス性能: 5
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

音環境	2.2
温熱環境	2.5
光・視環境	N.A.
空気質環境	2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	2.1
耐用性	2.7
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

生物環境	1.0
まちなみ	1.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

水資源	3.0
非再生材料の	2.4
汚染物質	2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.2
地域環境	2.9
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	断熱性能が高く、可変性の面においても対応のしやすい計画としている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	空調の大きなゾーニングのできる計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地面積の中でも高木、中木を積極的に植樹する計画としている。
LR1 エネルギー	外皮性能の高い計画、断熱仕様を行った計画としている。	LR3 敷地外環境 道路からの出入り口を2か所に設け、渋滞緩和の見込める計画としている。
Q2 サービス性能	空間形状の自由度が高く、将来的な間取り変更に対応できる計画としている。	
LR2 資源・マテリアル	遊技場としての一般的な節水器具等を使用した計画としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0036

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)マルハン高槻店新築工事(パチンコ棟)					
	建設地	高槻市南庄所町123番1					
	用途/区分	集会所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	
【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.2	3	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	2.0	3	
				住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.0		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							